

水辺のふるさと かつしか 夏号

2021.3 - 5

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル：シロバナタンポポ

撮影場所：区北西部

写真提供：石鍋壽一さん

目次

- 1 55種の動植物調査結果 P 2
- 2 自由レポート P 3
- 4 季節の写真集 P 19
- 5 魚からの便り P 22
- 6 環境課からのお知らせ P 26

編集担当のひとこと



こんにちは。4月から環境課自然環境係に配属されました、佐藤と申します。

配属されてから体験したことをお話ししたいと思います📖

春の暖かい陽気の中、胴長を着て柴又・新八水路で投網を投げる魚類調査に参加しました。まず陸上で投網を投げる練習をしてから水中に臨みます。私は投網をうまく投げられず1匹も捕まえることはできませんでしたが、いろいろな種類の魚がいることを知りました>°))シ

自然環境レポーター研修では、野生生物の写真を撮る際のポイントを教えてもらいました。また、「ここには動物はいないだろう」という先入観を取り払ってよく観察してみると、身近なところに野生生物がいるそうです。自分でもカメラを片手に自然観察をしたくなりました(^.^)

配属されてからまだ数か月ですが、葛飾区内にはたくさんの自然や野生生物がいることを新しい発見とともに日々学んでいます。これからも自然環境について学びながら観察を続けていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。



55種の動植物 調査結果(3月~5月)

【調査区1】 計2種

〈昆虫〉 ナミアゲハ
 〈植物〉 アカメガシワ、
 ナガミヒナゲシ、
 シロツメクサ、
 イモカタバミ
 〈爬虫類〉 ミシシippアカミミガメ

【調査区2】 計12種

〈鳥類〉 ツバメ、コサギ
 〈昆虫〉 クロアゲハ、ナミアゲハ
 〈植物〉 スギナ、ナガミヒナゲシ、
 シロツメクサ、スズメノエンドウ、
 イモカタバミ、オオバコ、
 カントウタンポポ、
 ツユクサ、ススキ、アレチウリ、
 セリ、ジュズダマ

【調査区3】 計16種

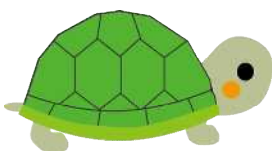
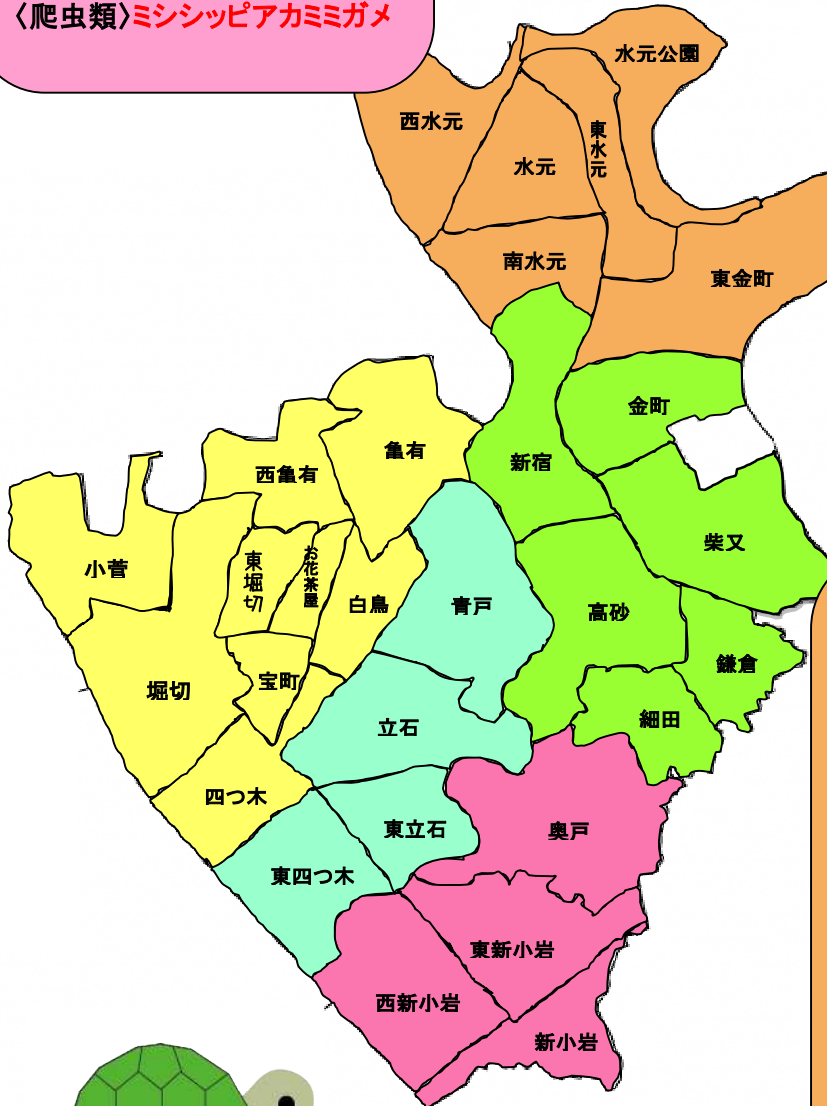
〈鳥類〉 ツバメ、コアジサシ、
 ツグミ、コサギ、
 カワセミ、シジュウカラ
 〈昆虫〉 ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン
 〈植物〉 アカメガシワ、スギナ、
 ナガミヒナゲシ、
 スズメノエンドウ、シロツメクサ、
 イモカタバミ、セリ、オオバコ、
 スギナ、ツユクサ、
 カントウタンポポ
 〈爬虫類〉 ミシシippアカミミガメ

【調査区4】 計6種

〈鳥類〉 ツバメ、シジュウカラ、ツグミ、ウグイス
 〈植物〉 スギナ、ナガミヒナゲシ、
 シロツメクサ、アカボシゴマダラ
 スズメノエンドウ
 〈爬虫類〉 ミシシippアカミミガメ

【調査区5】 計23種

〈鳥類〉 コアジサシ、ツバメ、オオヨシキリ、
 コガモ、ツグミ、ウグイス、コサギ、
 カワセミ、コゲラ、シジュウカラ
 〈昆虫〉 ギンヤンマ、ナミアゲハ、
 クロアゲハ、ツマグロヒョウモン、
 エンマコオロギ、アカボシゴマダラ
 〈植物〉 アカメガシワ、スギナ、ツユクサ
 ナガミヒナゲシ、シロツメクサ、
 スズメノエンドウ、イモカタバミ、
 セリ、オオバコ、カントウタンポポ
 〈爬虫類〉 ミシシippアカミミガメ、
 ニホンカナヘビ、ウシガエル



赤字は外来種だよ

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年3月27日

スミレについて



スミレ

区内北西部 令和3年3月27日

スミレやアリアケスミレが、調査区3内で知っている範囲で、3か所生えています。

雑草として草刈りされずに咲くのはこの1か所だけです。

他の2か所は、個人所有地と公用地ですが、両方とも雑草として他の高くなる草と共に草刈りされます。

今年のスミレは他の地区も、何故かヒメスミレのように小さいです。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年4月4日

スミレについて2



スミレ

区内北西部 令和3年4月3日

調査区3内で4か所目のスミレ類の生息を確認しました。まだ咲いていないアリアケスミレを除き、今年見た中で、通常のサイズのスミレはこちらの箇所だけです。

スミレとノジスミレは区別が難しいそうです。

話はそれますが、近隣の地域で通りすがりで見ただけですが、今年は桜と藤が同時期に満開で咲いています。私の知っている範囲では例年の藤の開花はもう少し後だったと思います。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年5月1日

スミレについて3



「アリアケスミレ？スミレ？」

区内北西部 令和3年5月1日

地区で咲くアリアケスミレが1か所しかなく、コンクリートの中から生えていて、草刈もされることから、ここ2年くらい種だけもらってきて、家の植木鉢にまいていたら発芽しました。

今年、開花しなくて、通常のスミレもまいた気がするのでどちらかはっきりしません。

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩	調査区	1-4
----	-------	----	------	-----	-----



ツリガネカズラ(釣鐘葛) / ノウゼンカズラ科
別名:カレーカズラ



4月になると、このカレーカズラは中川土手の金網につるを這わせませす。
文字通りカレーの匂いプンプンで、花のありかはすぐわかります。
ちょっと毒々しい感じの色です。

4月上旬撮影



シャリンバイ(車輪梅)
バラ科

白いシャリンバイはよく公園などで見かけますが、
これはピンク、珍しかったので撮影しました。

4月下旬撮影

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩、東新小岩	調査区	1-4、1-3
----	-------	----	-----------	-----	---------



チェリーセイジ／シソ科
多年草



空地のフェンスにチェリーセイジの大株があります。
毎年、3月頃から咲き始め、5月終りでもまだにぎやかに花を付け続けています。
さくらんぼの匂いがするため、「チェリー」という名がついたとか？

3月中旬撮影



セイヨウオダマキ(苧環)
ピンクベンチコート
キンポウゲ科

工場のブロック塀のすき間に、
どこからかこぼれ種が入って、
一株だけで咲いていました。
ピンクの薄織物でできている様です。

4月20日ころ撮影

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

3月7日(日)午前9時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は6度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、シジュウカラ(3)、メジロ(1)、ヒヨドリ、ムクドリ、オナガ(2)、ツグミ(1)、ハクセキレイ(2)、スズメを見つけた。植物は、オオイヌノフグリ、ナズナ、ミチタネツケバナ、オッタチカタバミ、セイヨウタンポポ(3)、イモカタバミ、ホトケノザを見つけた。ハクモクレンやジンチョウゲの花が咲いていた。

3月14日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は15度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ムクドリ、カルガモ(6)、カワウ(1)、ハクセキレイ(2)、オオバン(3)、ユリカモメ(大群)、スズメ(2)を見つけた。昆虫は、ツマキチョウ(4)を見つけた。植物は、オランダミミナグサ、ホトケノザ、カラスノエンドウ、ミチタネツケバナ、ナズナ、ノゲシ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、スズメノエンドウ、ハコベ、セイヨウタンポポ(3)を見つけた。

3月20日(土、祝)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温14度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ、メジロ(1)、シジュウカラ(3)を見つけた。植物は、オオイヌノフグリ、オッタチカタバミ、ホトケノザ、オランダミミナグサ、ナガミヒナゲシ(初)、ハコベ、カラスノエンドウ、キュウリグサ、ノゲシ、ニワゼキショウ、スズメノカタビラ、ナズナ、ミチタネツケバナ、セイヨウタンポポ、ツクシを見つけた。ソメイヨシノの花が咲き、ケヤキの若葉が出てきた。(東京・3月14日サクラ開花)

4月4日(日)午前9時頃、天気は晴れ(風あり)、気温18度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、オナガ(3)、キジバト(1)を見つけた。昆虫は、ヤマトシジミを見つけた。植物は、ニワゼキショウ、セイヨウタンポポ、カタバミ、オランダミミナグサ、ハコベ、ノゲシ、ナズナ、ハルジオン、ムラサキカタバミ、イモカタバミ、スズメノカタビラ、ナガミヒナゲシ、オッタチカタバミ、ミチタネツケバナ、ホトケノザ、ヤブタビラコ、イヌムギ、キュウリグサ、オオイヌノフグリ、オニノゲシ(1)、アメリカフウロを見つけた。サクラが散り、ハナミズキの花が咲き始めた。新緑のケヤキが美しい。

4月10日(土)午後2時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は16度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ハクセキレイ(1)、セグロカモメ(1)、カルガモ(1)、オオバン(1)、カワウ(1)を見つけた。昆虫は、モンシロチョウ(10)、ヤマトシジミ(4)、ベニシジミ(1)、モンキチョウ(4)、ナミアゲハ(1)を見つけた。植物は、セイヨウタンポポ、オランダミミナグ

サ、タネツケバナ、スズメノカタビラ、カタバミ、ムラサキカタバミ、ナガミヒナゲシ、ナズナ、イモカタバミ、オッタチカタバミ、イヌムギ、カモジグサ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、スイバ、ヒメスイバ、ギシギシ、ホトケノザ、ハルジオン、ハコベ、スカシタゴボウを見つけた。サツキ・ツツジの花が咲き始めた。

4月18日(日)午後1時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ハクセキレイ(1)、ムクドリ(2)を見つけた。昆虫は、モンシロチョウ(1)、ナミアゲハ(1)を見つけた。植物は、スズメノエンドウ、カラスノエンドウ、ギシギシ、スイバ、ヒメスイバ、イヌムギ、カモジグサ、ハルジオン、ナガミヒナゲシ、ナズナ、オニノゲシ、ムラサキツメクサ、シロツメクサなどを見つけた。

4月25日(日)午前9時頃、天気は曇り(風なし)、気温は15度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ(1)、ツバメ(5)、シジュウカラ(2)、ヒヨドリ、オナガ(2)を見つけた。植物は、ナガミヒナゲシ、スズメノカタビラ、ヒメコバンソウ、カモジグサ、カタバミ、ギシギシ、ヒメスイバ、ハルジオン、シロツメクサ、ムラサキツメクサなどを見つけた。

5月4日(火、祝)午前10時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は22度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、オオパン(1)を見つけた。昆虫は、ツマグロヒョウモン(1)、モンシロチョウ(4)、アオスジアゲハ(2)、ナミアゲハ(1)を見つけた。植物は、セイヨウタンポポ、ナズナ、ヒメスイバ、ヨシ、カモジグサ、シロツメクサなどを見つけた。サツキ・ツツジの花が咲いていた。

5月9日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は24度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、オナガ(1)、キジバト(1)、スズメ、ツバメ(3)、ムクドリ、コアジサシ(3)を見つけた。昆虫は、ナミアゲハ(1)、モンシロチョウ(3)、ヤマトシジミ(1)を見つけた。植物は、ヒメジョオン、コヒルガオ、ドクダミ、ムラサキツメクサ、イヌムギ、スイバ、ヒメスイバなどを見つけた。5年ぶりにコアジサシを発見し、感動した。この日は天気がよく、最高気温が28度にもなった。

5月16日(日)午前10時頃、天気は曇り(風強し)、気温は21度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ(2)、ツバメ(3)、コサギ(1)を見つけた。昆虫は、モンキチョウ(2)を見つけた。植物は、コヒルガオ、ギシギシ、スズメノテッポウ、シロツメクサ、ヒメジョオン、ナガミヒナゲシ、ノゲシなどを見つけた。

5月22日(土)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温は20度くらい。

亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、オナガ(2)を見つけた。昆虫は、スジグロシロチョウ(1)、モンキチョウ(1)を見つけた。植物は、コバンソウ、ドクダミ、ヒメジョオン、ハルジオン、エノコログサ、ツユクサ、コヒルガオなどを見つけた。アジサイの花が咲き、今週、梅雨のはしりの雨が降り続いていた。

3・4・5月とも、例年と比べると1ヶ月くらい先の天気となっている。異常気象の現象が近年、マスコミで大きく取り上げられ、ますますSDGs(持続可能な開発目標)を推進するときだ。SDGsには、17のゴールと169のターゲットがある。ターゲット1-1.5に、「2030年までに、貧困層や状況の変化の影響を受けやすい人々のレジリエンスを高め、極端な気候現象やその他の経済、社会、環境的な打撃や災難に見舞われたり被害を受けたりする危険度を小さくする」とある。厚生労働省の国民生活基礎調査によると、平均所得の半分に満たない家庭で暮らす18歳未満の子どもの貧困率は2015年時点で13.9%である。7人に1人が貧困状態にある。現時点では若干回復したようだが、コロナ禍で苦しい家庭生活をしている子どもは多数いる。産経新聞で、5月22日の日本の論点で、『「言えない貧困」を救う仏の道』と題して、記事が書かれていた。記事を書かれたのは奈良支局の比嘉一隆氏で、奈良県の安養寺の住職・松島せいろうさんが発案して7年前に始めた「おてらおやつクラブ」についての取り組みだ。「おてらおやつクラブ」はNPO法人にして、事務局を安養寺に置き、現在、宗派を超えて全国約1600カ所の寺が参加するものとなったことを伝えている。一般の寺では、もともと檀家で分け合っていたお供えを、松島さんが困窮家庭に届けようと考えた。きっかけは平成25年5月、大阪市のマンションで幼児と母親が遺体で発見された事件だ。「食べさせられなくて、ごめんね」というメモの報道を聞き、胸につまったとのことである。「コロナ禍のこの1年でおすそわけ先は急増した。3月末の時点で事務局からは約1700世帯と、前年の同じころと比べて約5倍になった。活動全体で、ひと月1万9千人に配る計算になるという。クラブでは、1つの子ども支援団体などに対し近隣の3~4カ寺がつながりを持ち、団体を通じて定期的におすそわけをする枠組みを作っている」と記事が書かれていた。『「定年後」はお寺が居場所』(星野哲、集英社新書)でも、「おてらおやつクラブ」が取り上げられている。著書では、「(住職が)菓子などをダンボールに詰める際、必ず手書きの手紙を同封している。気にかけている人がいる、ということを感じてほしいからだ。すると、菓子を届けているお母さんから『見守ってくれている存在、人がいることに感謝しています』というメッセージが届くことがある」「寺を存続させ、人々が来てくれる場にする必要がある」と書かれている。この活動も、SDGsの活動だと思う。

(5月23日)

休みに花の咲く園（その）に通って・・・

皐月に成り、牡丹も咲き終わり、さて次は花菖蒲かと思い『堀切菖蒲園』に通っている途中に、我が家の近くに、小さなバラ園があったのです。5月4日のみどりの日には旬のように『大きな薔薇』がたくさん咲き、弁当を持って薔薇を観ていると、クロアゲハが飛んできてバラに止まりました。その後にモンシロチョウが2匹で、次にアゲハチョウが、このモンシロチョウとアゲハチョウは数え切れないくらい、その後にクロアゲハも2回、驚いたのはアオスジアゲハが2回、飛んで来ました。ちなみに、この場所は『西亀有せせらぎ公園』です。

バラの旬が終わる頃から『堀切菖蒲園』も花菖蒲が次々と顔を出すかと思うと、『堀切水辺公園』にたくさんの菖蒲が咲いていて、かなりボランティアの力が大きかったそうです。でも、まだまだ満開ではありませんでした！『堀切菖蒲園』も『堀切水辺公園』にもモンシロチョウが数多く飛んでいました。何しろ悔しかったのはこれだけのチョウと出会いながら、カメラに納められませんでした。そ、そ、そして5月23日（日）モンシロチョウがお食事している所をやっと撮れました。吸っている花は『ヒメイワダレソウ』だと思います。

やっと、蝶が撮れたと思い、ホッとして園内を歩いていると、なんと『トンボ』が止まっているではありませんか!?かまえようとすると、ス〜っと遠くに行ってしまいました。

・・・実は去年の夏に毎日、私は『足立区生物園』に【トンボ池】があり7種類のトンボを毎日、観察して夏が終わると同時に9月に葛飾区の『自然環境レポーター』に成りました。30年後に菖蒲は咲くけど人工的で昆虫がないのは菖蒲園とは言えないと思います!!

あ〜この季節に区立のあの公園にいけば、あの動物に逢える。そんな『葛飾区』を夢見ています。自然があつてからこそ、人間が生きていける葛飾区であつて欲しいと願っています。

ありがとうございました。

慶蔵



氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)					
鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和三年)				

種類	3月	4月	5月	種類	3月	4月	5月
西洋タンポポ	10	900	55	シロツメ	0	10	0
つゆ草	0	0	0	アゲハ蝶	2	2	0
シジミ蝶	0	5	3	モンシロ蝶	0	5	15
クロアゲハ蝶	0	0	1	アオサギ	1	1	1
カモ類	200	60	0	中サギ	0	0	0
ユリカモメ	10	20	0	コサギ	1	1	0

野鳥の情報 溜池内のカモ類が例年より少ない。釣り人と仲良しだったコサギが最近は見かけない。5月11日、観察地の写真だが舗道に猫餌が撒かれていた。野鳥が食べようとしていたが近づいたら飛び立ってしまった。これっていいのかな？



昆虫情報

あじさいの周囲は雑草だらけのせいか、クモがよく巣を作っている (写真は次のページ)
 巣の主は外出中らしい。孫との散歩中、神社の近くのマンション、庭の花畑で道路側からカタツムリの殻を拾った。写真は3回で集めたものと脱皮の写真 (以前撮影)

カラーニケは色えんぴつ使用



植物の情報

関東タンポポを今年はたくさん発見した。

3月10日、観察地の西洋タンポポは10個

3月15日、亀有香取神社脇の道路に関東タンポポの花10個

3月下旬、水元東みどり公園で株数20個以上と多数発見

間違いではないかと丁寧に観察した。入口と出口の一部に西洋タンポポがあった。

4月上旬・水元公園の菖蒲田近くの歩道側にも数個あるが、直ぐ近くに西洋タンポポあり、報告数には数えられない。

・東5丁目、道路わきに数株あり。(去年もあった)

観察時期は短いが丁寧にみると、絶滅といわれながらも、以外とあるのではとおもうようになった。

4月10日・観察地の最高数 西洋タンポポ花数 900

公園の花見客が多いというので今年は止めたが、4月の観察日に八重桜が満開だった。



くもの巣↑



観察地の土手には、外来種の花多数
毛こけもそうかな



庭の幼虫↑ 成長するとアゲハ? 別撮影↑

自然環境レポート R3/3~5月の巻

調査区 5

佐々木定治

混迷の初夏でも自然の営みは…！



3月15日 ナガミヒナゲシ 水元3丁目



4月3日 西洋タンポポ 水元2丁目

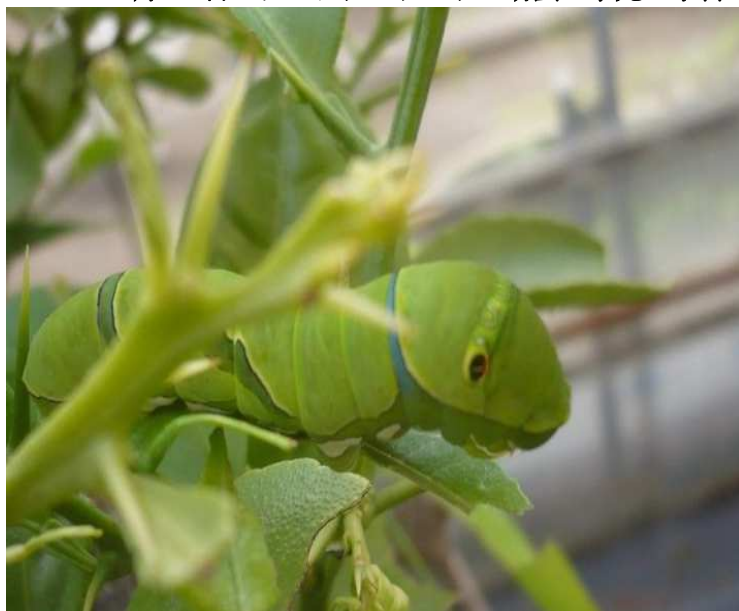


4月24日 ヘラオオバコ 水元2丁目



5月1日 タンポポの綿毛 水元2丁目

5月16日 ナミアゲハチョウの幼虫 水元2丁目



ナガミヒナゲシの繁茂する季節が例年よりも早くなっているような気がします。私はなるべく見つけては抜いていますが、追いつかないような状況です。

ヘラオオバコのアスファルトの亀裂から出て、何と旺盛に大胆に、風に揺らいでいました。

最近SDGsとかサステナビリティという言葉が日常生活で頻繁に聞かれるようになりました。そんな中、青森市内にある縄文時代の三内丸山遺跡にとんでもない発見がありました。

私の中学校時代の歴史の教科書では農耕文化は弥生時代から発祥したと習ったのですが、何と縄文時代の人々が原始的な狩猟採取生活を送り※

清楚な色彩を放つ初夏に！



5月17日 ハハコグサ 水元3丁目



5月19日 ハルジオン 水元3丁目



5月19日 ドクダミ 水元3丁目

5月20日 クマバチ 水元3丁目



モンシロチョウ 水元3丁目

カナヘビ 水元3丁目



※食料を求めて常に移動していたことが分かったということです。そして日本人の祖先は、1万年以上もの間持続可能性という暮らしをしていたことが分かったのです。

いつも自然観察レポートをする時、この地球の営みが百年・千年・万年と続くのであろうかと、思いを巡らしながらの観察をしている自分に気が付きます。たったひとつの地球が未来永劫に続きますようにと願わずにはいられません。

緊急事態宣言が延長された混迷の時代でも、自然界は夏色の季節を足早に見せ、何事もなかったかのようにスーパームーンと共に皆既月食の夜を楽しませてくれ、見事な演出に感動をいただきました。

葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2021年3月～2021年5月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に5-24、5-26	町名：東金町
-----------	-----------------	--------

3月19日（金） 東金町3丁目

朝の通勤時に商店街を歩いていると、上空からツバメの鳴き声が聞こえてきた。今年初認だ。毎年ツバメのスイスイと飛ぶ姿とその鳴き声を見聞きすると、いよいよ春が到来したんだと実感し清々しい気持ちになる。レポーターの皆さんはいかがでしょう。

自宅ベランダから江戸川堤上空に目をやると、ホバリングしているチョウゲンボウの姿が見えた。その直後、一気に急降下したが獲物を捕らえたのかどうか自宅からは見えなかった。

3月28日（日） 江戸川堤→水元公園

15時過ぎに江戸川堤に出て散策。ヒバリがあちらこちらで囀っていてとても賑やか。ヒバリと一緒に春の到来を喜びたい気持ちになる。そのまま水元公園まで足を延ばしたが、小合溜にはまだまだ冬鳥のヒドリガモ・ハシビロガモ・キンクロハジロなどの水鳥が水面に多数ひしめいていた。また陸地にはツグミの姿も複数見られた。この時期は夏鳥と冬鳥が混在していて、それぞれを楽しむことができる季節だ。

4月4日（日） 水元公園

バードサンクチュアリ付近の草むらから首を伸ばしているアオダイショウの姿あり。やや小ぶりだったが、優しい目でこちらを見ていた。写真を撮ろうとした瞬間に身の危険を感じたのか、すぐに草の中に入って姿が見えなくなってしまった。アオダイショウも活発に動き出したようだ。

5月6日（木） 東金町6～7丁目 江戸川堤

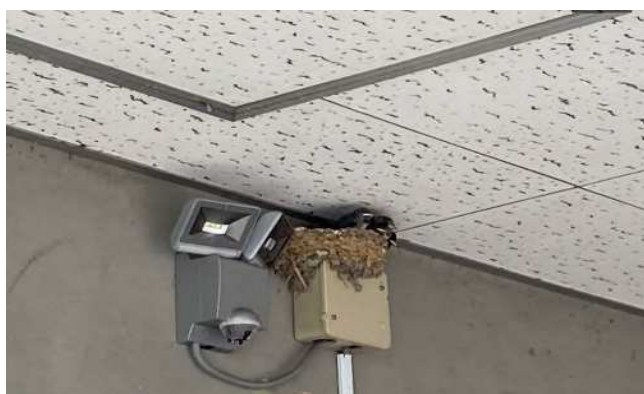
日没前の18時頃の江戸川はまだまだ生き物の活動が活発だった。キジのオス(2)・オオヨシキリ(3)・ヒバリ(3)は元気に鳴いていて、チョウゲンボウ(1)も上空をスーッと飛んで行った。

5月9日（日） 東金町6～8丁目 江戸川堤・水元公園不動池

江戸川では上空をツバメが舞い、ヒバリ・セッカが囀りながら飛ぶ。土手の斜面にはたくさんのムクドリが、東金町8丁目地先の河川敷のヨシ原ではキジが鳴きオオヨシキリが囀っている。不動池に到着すると大勢のカメラマンがカワセミのシャッターチャンスを狙っていた。不動池周りの樹々にはオナガの姿が複数見られた。

5月29日(土) 東金町3丁目 商店街

これまで東金町3丁目の商店街付近をツバメがよく飛んでいる姿を目撃しており、1カ所だけ巣を確認していたが、他にもあるのではないかと思い付近を探していたところ、半径約100m内に計4カ所の巣があることを確認。それぞれ自転車の駐輪場の屋内に2カ所。コンビニの軒先に1カ所。マンションの入口の庇内に1カ所。いずれも人通りが多く、カラスなどの天敵が寄り付きにくいところだった。どの巣にもヒナの姿あり。日本野鳥の会の調査結果では、全国的にツバメが減少しているとのことで、何とかこのまま無事に巣立つことを祈りたい。今後も引き続き調査を行っていきたい。



駐輪場①



駐輪場②



コンビニ軒先



マンション入口

コロナ禍の春景色

弥生さくら草

近頃の世の中で今一番の話題はコロナであり、特に高齢者間ではワクチンの予約か、打ったか、どうか?などであるようだ。その中、コロナが蔓延して厳しい世相の中でも見渡せば木々は瑞々しい色に染まり成長を謳歌しているようだ。これらはコロナが及ばないようだ。家の近くの歩道を飾るアメリカハナミズキの並木は萌黄色の葉をいっぱい繁らせて威風堂々とした姿である。少し前までは八重桜が咲き乱れ、ハナミズキの白い花が競うように咲いていて、その美しさに見惚れたのだった。通るたびにハナミズキの花の白と新芽の緑であたりが明るくなるほどで立ち去り難かった。今は重厚な新緑の葉で覆われ又見事である。ここで立ち止まり深呼吸をする。これが秋には落葉し道端を覆うから全てが無くなるまでは大変な作業である。近所に住む方々には喜怒哀楽のもとであろうか……。

昨日墓参の帰りに素敵な花に逢った。サボテンの月下美人に似ているが少し違うようで白い花の中心がピンク色である。花の命が束の間で儂いのは同じようで、翌日通ったらもうその姿は無かった。月下美人は夜に咲く。この花は昼に咲くのも異なる。無心な花の姿を見ていると束の間でもほのぼのとした気分になった。早くコロナが落ち着いてマスクを忘れる日々が来るのが待たれる。

季節の写真集 (3月～5月)



「月初にサッと撮って帰りました。2羽でいたのでつがい？」カケス
3/7 水元公園 名前：石鍋壽一



シロバナタンポポ
4/11 区北西部 名前：石鍋壽一

「満開」
3/24
お花茶屋公園
名前：R



「桜」
3/29
亀有
名前：Ryu

「蝉早っっ！」
4/22
お花茶屋
名前：R



タツナミソウ
4/8 お花茶屋
名前：Ryu

「幼虫も、うじゃうじゃいるぜ！」
ナナホシテントウの幼虫
4/11 白鳥 名前：慶蔵



「ここはどこ、私は誰？」
ナナホシテントウの幼虫
4/11 白鳥 名前：慶蔵



「わ～、おいしい」
モンシロチョウ
5/26 堀切菖蒲園 名前：慶蔵



「今は白鳥いるけれどオタマの時はどこの池？」
雑草の中にいたアマガエル 4/11 白鳥 名前：慶蔵



42°
5/17 お花茶屋
名前：R

「種鞘開く」
5/4 お花茶屋
名前：Ryu





ナヨクサフジ（外来種）
5/1 区北西部
名前：石鍋壽一



ナミアゲハの幼虫
5/16 水元2丁目
名前：佐々木定治



コゲラ
水元公園 名前：高橋雅子

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-284

調査回数 調査日 地点		286			備 考
		2021/3/27			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	10 43-58			
2	ア ユ	9 56-82			
3	オ イ カ ワ	3 113-122			
4	カ ダ ヤ シ		16 16-30	15 12-29	特定外来生物
5	タイリクバラタナゴ		2 16-20		
6	ド ジ ヨ ウ		1 45		
7	ヌ マ チ チ ブ	11 21-50			
8	ボ ラ	1 35			
9	メ ダ カ		20 21-31	40 16-31	
10	モ ツ ゴ		1 41		
計		5種類34個体	5種類40個体	2種類55個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて10種類129個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温19.4℃、水温 本流14.6℃、新八水路17.0℃、新八ワンド17.0℃（14:40頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.81m (12:00)1.84m (14:00)1.85m

【参加者コメント】

- ・ 一日中水位が高く、投網がやりにくかった。
 今回も複数個体ののアシシロハゼが採れた。東京湾から溯上するばかりでなく、川でも繁殖しているのかもしれない。本種はマハゼに似ているが、頭が短く丸みをおびる、両眼間隔が狭い（寄り目）、腹鰭が楕円形で両側に黒い筋模様がある（マハゼは丸く透明）、などで識別できる。（YK）
- ・ 松戸側の土手が、菜の花が咲いているらしく、だいぶ黄色になっていました。
 先月に続きサケ出現しませんでした。もちろんその方がいいのですが、イベントがなければ放流しなくていいという程度なら、最初っからやらないでほしいものです。魚が気の毒じゃないのか。（KI）
- ・ 先月と比べるとアユのサイズが全体的に小型になっている。同じ個体群でないことは想像できるが、なぜ小さくなったのか。（SI）

【今後の調査日】

4月10日(土) 5月23日(日) 6月12日(土) 7月10日(土) 8月10日(土) 9月5日(日)
 HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-285

調査回数 調査日 地点		287			備 考
		2021/4/10			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	9 34-63			
2	ア ユ	6 70-95			
3	ウ ナ ギ	1 92			
4	オ イ カ ワ	1 125			
5	カ ダ ヤ シ		9 20-33	3 16-28	特定外来生物
6	ギ ン ブ ナ		1 61		
7	コ イ			1 13	
8	ス ゴ モ ロ コ	1 82			
9	タイリクバラタナゴ		4 23-28		
10	ド ジ ヨ ウ		1 60		
11	ヌ マ チ チ ブ	17 28-60			
12	ボ ラ	8 30-35		4 33-40	
13	メ ダ カ		2 23-26	32 14-32	
計		7種類43個体	5種類17個体	4種類40個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて13種類100個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温17.0℃、水温 本流15.8℃、新八水路14.0℃、新八ワンド18.1℃（14:30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.85m (12:00)1.84m (14:00)1.85m

【参加者コメント】

- ・ 久しぶりに暖かな天候だったが、本流の水位が高くて投網での採集には苦労した。河口（潮止）堰の閉鎖で流れがない江戸川本流では、上流が判らずに滞留しているアユの未成魚が採集された。せめてアユの溯上期だけでも船通し閘門を原則上流側水門閉鎖で、内部にポンプアップして放水し、30分刻みで開閉すればいわゆるロックゲート式魚道としてアユなど魚類の溯上量を飛躍的に増やせるのだが、やる気配もないのは残念だ。（YK）
- ・ ヒバリとツバメの声が空から聞こえる好天の調査でした。（KI）
- ・ 新八周辺には何本もオニグルミがある。一見花には見えない雄花が枝先からすでに垂れ下がっている木がある一方で、調査の休憩場所に一番近い木はまだ新芽が出始めたばかりだ。（SI）

【今後の調査日】

5月23日（日） 6月12日（土） 7月10日（土） 8月10日（土） 9月5日（日）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-286

調査次数 調査日 地点	288			備 考	
	2021/5/23				
	本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	30 41-73			
2	ア ユ	1 73			
3	ウ ナ ギ	1 88			
4	オ イ カ ワ	7 54-150			
5	カ ダ ヤ シ		6 23-42	特定外来生物	
6	ギ ン ブ ナ		1 23	13 28-38	
7	コ イ			1 30	
8	コ ク チ バ ス	1 188		特定外来生物	
9	ス ゴ モ ロ コ	1 87			
10	ス ズ キ	1 51			
11	ス ミ ウ キ ゴ リ			15 31-40	
12	ニ ゴ イ	3 143-370			
13	ヌ マ チ チ ブ	44 30-78			
14	バ ス SP	15 9-13		特定外来生物	
15	ボ ラ	8 35-430			
16	マ ハ ゼ	7 22-58			
17	マ ル タ	5 31-37			
18	メ ダ カ			1 34	
計		13種類124個体	2種類7個体	4種類30個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて18種類161個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温25.2℃、水温 本流19.4℃、新八水路20.7℃、新八ワンド24.6℃（15:00頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)0.60m (12:00)0.82m (14:00)1.37m

【参加者コメント】

- ・ 午前中は久し振りに水位が低くて採集しやすかったが、午後は閘門を閉鎖したためか、どんどん水位が上がっていった。
 午前中、水位が低い時にバス類の稚魚が旧柴又水路の中で見掛けた。ヌマチチブの稚魚かと間違い、全部を駆除しなかったことを深く反省した。
 午前中の流れが早い下流側で大きなスゴモロコが投網に入った。最初はニゴイかと間違える程似ていた。同じカマツカ亜科だから当然かもしれない。（YK）
- ・ 初夏の頃、バス類は、礫のある場所に産卵床を作って親が守っています。今回のように水位が下がった時は、水深10cm程度でもいることがあるので、浅くても怪しい場所は打った方がいいかと。また、仔稚魚は黒くて（保護色の必要がない？）まとまっているので、たも網ですくえます。ちなみにカムルチーは浮いていて、迂闊に手を突っ込むと親に噛まれますのでお気をつけて。（KI）
- ・ 150ミリの婚姻色が出たオイカワが採れた時はとても嬉しかった。水路の中がオオカナダモで覆われていたので駆除したが、カダヤシとギンブナしか採れなかったのは寂しかった。（SI）

【今後の調査日】

6月12日（土） 7月10日（土） 8月10日（土） 9月5日（日）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】



環境課からのお知らせ

自然環境係 電話：5654-8237（直通）

お友達や知人の方など

★自然環境レポーターに誘ってみませんか★

—広報かつしか7/5号に掲載いたします♪—



現在葛飾区では、多くの方に自然や生きものに興味を持ってもらうことが大切だと考えています。皆様が参加されているこの「自然環境レポーター制度」は、今まで自然観察をされたことがない方でも気軽に楽しんでいただける内容のものとなっております。今後もこの制度をきっかけに、身近な自然や生きものに興味を持っていただける方々をますます増やしていきたいと区として考えております。

令和3年度自然環境レポーターの新規加入者募集も始まります。この機会にぜひ、皆様のお友達や知人の方などを自然環境レポーター制度に誘っていただき、一緒に研修会に参加してみませんか？そして、環境レポートを友人・知人と相談しながら作成すると、レポーター活動も楽しくなるかもしれませんね。

もし、ご紹介していただけるお友達や知人の方などいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。よろしく願いいたします。

【申込期限：令和3年7月26日（月）】



★もうすぐ自然環境レポーターの更新の時期になります★

自然環境レポーターの皆様には9月1日から1年の任期で活動していただいております。現在のレポーターの皆様におかれましては、引き続き活動していただければ幸いです。

前年の令和2年度より全員の意味確認を行うこととなりました。後日、通知を郵送いたしますので、必ず返信または、自然環境係までご連絡くださいますようお願いいたします。



★自然環境レポーター委嘱式・研修会★

委嘱式と研修会につきましては、9月4日（土）午前10時00分から、「亀有地区センター ホール」にて行います。年1回の委嘱式ですので、ご出席をお待ちしております。※詳細は、後日ご案内いたします。

★カントンと秋に鳴く虫を聴く会★



日 程	会 場	講 師
9月17日(金)	青戸平和公園(青戸4-23-1)	佐々木 洋先生 (プロ・ナチュラリスト)
9月29日(水)	水元スポーツセンター公園 (水元1-23-1)	土岐 秀則先生 (昆虫・自然研究家)
10月8日(金)	新小岩公園(西新小岩1-1-3)	佐久間 浩先生 (森林インストラクター)

※時間は、19時～20時30分です。

★綾瀬川で水辺環境調査を行います★

採取した生きものを展示して、その場で調査結果の概要を説明します。
直接会場へお越しください。 駐車場はありません。

日にち 7月8日(木) <予備日7月9日(金)>
時 間 9時～12時30分
(調査報告: 11時30分～12時)
場 所 綾瀬川(東四つ木避難橋付近)



★新ハ水路で魚類調査を行います★

日にち 7月10日(土) 8月7日(土) 9月5日(日)
※直前に確認して下さい。
10時～16時ごろ

場 所 江戸川河川敷 ※事前にご連絡をお願いします。
持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)



季節の写真集 (5月)

「いま何時？」

5/17 常盤中学校裏 名前：瑛ちゃん



「いい天気だな」

5/14 金町公園 名前：瑛ちゃん

「カメムシひと休み」

5/28 金町2丁目

名前：瑛ちゃん



～夏号でご協力いただいたみなさま～

Rさん、瑛ちゃん、江戸川の鮎さん、石鍋壽一さん、K・Nさん、
江良ヒデ子さん、慶蔵さん、佐々木定治さん、散歩の花子さん、
高橋雅子さん、田村ひろ子さん、T. Kさん、藤並剛さん、
森本龍司さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、RYUさん、
自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第317号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第269号)

令和3年6月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522～3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538



◆「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。